

宮城県

1. 石巻編

2014.9/26 (金)

●開催終了報告

3.11以降

東北

の文化を考える

なぜその地に居続けたいのだろうか？

三地域横断座談会



皆さん～是非、
現地へ出向きましょう！

（若手のイケメン・ベンチャーマン）
野口隆亮さん
（萬画館の設計からこの地のスポーツスマンへ）
黒木正郎さん

（料亭八幡家の肝っ玉女将）
阿部紀代子さん

（石巻のコーディネーター的存在）
狩野 章さん



震災から3年半。

現地の人々が一番恐れているのは「東北を忘れられること」だと言います。

私達はこの時点で、東北3地域の地元の関係者からお話を伺い、文化活動を通じて尽力・行動をされている側面から、中心となる地元の方を通してお話を伺う「座談会」を企画しました。

その全3回、「第1回—石巻編」が無事に開催され、終了しました。

会場の東大・弥生講堂アネックスセイホクギャラリーには石ノ森萬画館の建設からイベントに至る人的交流や動きなどが報告されました。また、参加者の方からも中央発信の石巻での施設コンペの動き等、地元の方も知らない動向などの具体的な話も紹介されました。また、座談会に先立ち「東大散策ツアー」も企画し、ご好評をいただきました。

次回、10月17日（金）第2回「久之浜編」が開催されます。

詳しくは、協会HPでお申し込み下さい。

《聞いてみました…石巻編》

「なぜその地に居続けたいのだから」という主題・テーマを聞いてみました。……「えっ、やっぱり、自分の故郷だからね」と女将の阿部さん。——当たり前すぎる問いと答えのようだが、その言葉には人の心に刻まれた、ご先祖様からの「場・根っ子を守る」という強い信念がありました。

【石巻編での学び】

私達にも出来る事、今からでも現地に出向き、五感で場の力を感じ取ることだ、ということですね。

